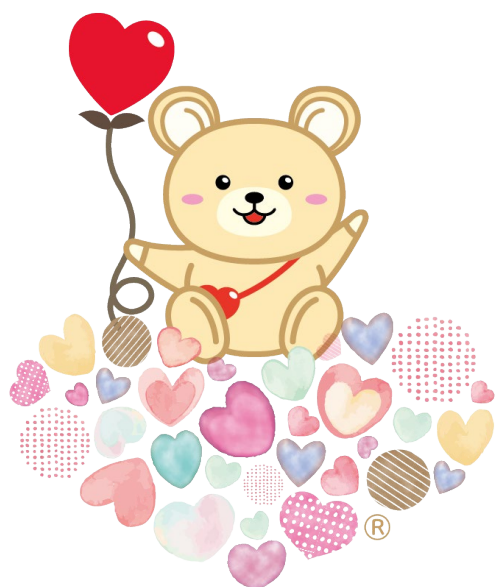




淑徳大学地域共生センター 2023 年度 報告書

目次

まえがき	4
1. 地域共生センターについて	5
2. 地域共生センターが行う業務について	5
3. 中期事業計画（第4期成果指標）とセンター活動の関連性について	6
4. 各事項における実施報告（2023年度）について	7
5. 2024年度へ向けて	44
参考資料	45
各種広報物等	46

まえがき

淑徳大学は、「Together with him.」という学祖の思いを受け継ぎ、開学以来培われてきた利他共生の精神を礎に、実学教育の伝統のもと支援活動やボランティア活動を行って参りました。

単科大学からスタートした本学の社会参画・社会貢献のかたちは各学部学科の専門領域に合わせて、さまざまに展開されており、支援活動やボランティア活動だけではなく、地域貢献活動やソーシャルビジネスへの参加など活動の幅は無限に広がっています。

淑徳大学地域共生センターは、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を具体的に展開する場として誕生いたしました。現在の地域社会では、淑徳大学が志向する「共生(ともいき)」とは異なり、社会的排除や分断が生じています。

すべての人がその存在を尊重される社会を創るために、私たち一人ひとりは何をすべきでしょうか？

地域共生センターでは、7学部13学科で学ぶ全ての学生の皆さんとその学びを支える教職員、卒業生や地域の皆さんが、自らを起点として「共生」とは何かを考え、一人ひとりが共生社会の実現に向けた第一歩を踏み出すための応援の場となることを目指しています。

さて、本資料は、淑徳大学地域共生センターの2023年度活動報告書です。本学教職員のみならず、広く一般に公開し、地域共生センターの取り組みを知っていただくとともに、活動を振り返り、後期以降へ活かしていくことを目的としております。当センターは、学内はもとより、本学の活動に関わる地域のみなさまのご協力により成り立っております。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月
淑徳大学地域共生センター長
鈴木 敏彦

1. 地域共生センターについて

淑徳大学地域共生センター（以下、センター）は、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を行動化し、その実践を通じて教育と社会貢献に資することを目的とし、本学の「共生（ともいき）」の伝統を基に取り組んできたボランティア活動や地域活動をいっそう推進するために、2023年4月に設立された。センターは、センター長、副センター長、センター員及び、4キャンパスの職員と全学部の教員から選出された運営委員より構成されている。

また、淑徳大学地域共生センター規程第2条には、センターの目的として、以下のとおり定められている。

（センターの目的）

第2条 センターは、淑徳大学(以下「本学」という。)の全学的な地域共生活動に関する事項を取り扱い、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を行動化し、その実践を通じて教育と社会貢献に資することを目的とする。

2 センターは、本学学生、教職員等(聴講生、科目等履修生、また過去に在学、在籍した者を含む)が生涯にわたり地域社会に貢献するという生き方、利他共生の精神、ふくし文化の醸成に寄与することを目的とする。

（参考：淑徳大学地域共生センター規程 第2条）

2. 地域共生センターが行う業務について

センターは、淑徳大学地域共生センター規程第3条に則り、以下の業務を行っている。なお、各事項における業務については、「4. 各事項における実施報告（2023年度）について」で報告する。

- (1) 地域共生活動を必要とする支援ニーズの把握に関する事項
- (2) 地域共生活動の企画及び実施(学内共通基盤の構築を含む)に関する事項
- (3) 災害支援活動の迅速な支援展開及び環境整備に関する事項
- (4) 生涯学習事業(含む社会人の学び直し)の企画と調整に関する事項
- (5) 地域共生活動の情報集約・発信と広報に関する事項
- (6) 各キャンパスで取り組む地域共生活動の支援に関する事項
- (7) その他必要な事項

（参考：淑徳大学地域共生センター規程 第3条）

3. 中期事業計画（第4期成果指標）とセンター活動の関連性について

2022年度に策定された中期事業計画において、主体組織が地域共生センターとなっている項目は以下のとおりである。策定された内容は、第4期成果指標とも紐づいており、これらと連動してセンター活動が展開されている。

カテゴリー	今期の重点施策	最終年度の到達目標
1. 教育	01.各キャンパスにおける地域（共生）活動の充実	地域共生センターのもと、各キャンパスに地域活動、ボランティア活動を推進するための部署又は窓口が設置されており、学生、教職員が地域（共生）活動を気軽に行える体制となっている。 【5年後の指標】 ・全学部学生4年次における地域活動実績割合：55% ・本務教職員における地域活動実績割合：55%
4. 社会連携・社会貢献	05.研究成果の教育と社会への還元の推進	各キャンパスにおいて、近隣自治体や地域住民等のニーズに合わせて、各学部等の専門性を活かした授業開放講座、公開講座等が開講され、地域の生涯学習の拠点の一つになっている。また、地域共生センターによる、全学共通の履修証明プログラムが展開・実施されている。 【5年後の指標】 ・授業開放又は公開講座を1学科あたり2回以上実施（13学科×2=26回） ・研究所、大学附置機関の公開講座を15回実施 ※各キャンパスの実態に合わせて目標値設定 ・ニーズ調査の反映結果の検証 ・履修証明プログラム受講者数：20名
	07.各キャンパスの地域災害支援体制の確立	各キャンパスが所在する地域で災害が発生した際に、機動的に対応（地域の方々の一時避難所としてキャンパスを開放）できるよう、マニュアルが整備されており、1年に1回は、学生・教職員・地域住民と実践的な防災訓練が実施されている。 ※近隣自治体との避難計画等との調整が必要であり、あくまでも本学は補完的な立ち位置 【5年後の指標】 ・各キャンパス 防災訓練 1回以上/毎年

（参考：中期事業計画）

4. 各事項における実施報告（2023 年度）について

(1) 地域共生活動を必要とする支援ニーズの把握に関する事項

・学内アンケート調査

淑徳大学生及び学生団体へ向けて、アンケート調査を実施した。本学学生におけるボランティア活動・地域活動に関する現状を確認し、今後の地域共生センターの活動の参考とするため、調査結果の整理を進めている。

【淑徳大学生のボランティア活動・地域貢献活動の実態および意識調査】

〔調査目的〕 本学学生に対して、より良い体験活動等を提供するためのボランティア活動・地域貢献活動の実態把握及び認定プログラムの修了要件（体験活動の時間数等を含む）検討のため。

〔調査対象〕 淑徳大学在学学生

〔調査期間〕 2023 年 7 月 10 日（月）～7 月 30 日（日）

〔回答数〕 89

・学科別回答数

No.	学科	回答数
1	社会福祉学科	18
2	教育福祉学科	18
3	実践心理学科	2
4	コミュニティ政策学科	2
5	看護学科	9
6	栄養学科	6
7	こども教育学科	7
8	地域創生学科	2
9	経営学科	4
10	観光経営学科	4
11	歴史学科	4
12	表現学科	7
13	人間科学科	6
合計		89

〔調査項目〕

No.	内容
1	大学入学前に、なんらかのボランティア活動・地域貢献活動に参加したことがありますか。

2	大学(短大を含む、以下同様)入学後に、なんらかのボランティア活動・地域貢献活動に参加したことがありますか。
3	大学入学後に行ったボランティア活動・地域貢献活動は、どのようなものでしたか。
4	大学入学後に行ったボランティア活動・地域貢献活動は、どのような分野の活動でしたか。
5	大学入学後に行ったすべてのボランティア活動・地域貢献活動について、活動した全日数(準備等も含む)は概ね何日程度でしたか。
6	【4年生の方のみお答えください】活動を最も多く行ったのは何年生のときですか。
7	活動に参加した動機はどんなことでしたか。
8	活動してよかったと思うことは何ですか。
9	活動に関する情報はどこで得ましたか。
大学入学後にボランティア活動・地域貢献活動をしなかったと回答した人	
10	大学入学後にボランティア活動・地域貢献活動をしなかった理由は何ですか。
全員回答	
11	今後、ボランティア活動・地域貢献活動をするとしたら、どのような分野の活動をしてみたいですか。
12	大学生がボランティア活動・地域貢献活動をしやすくするために大学ができる支援として、以下のものはどのくらい重要だと思いますか。
13	その他、大学ができる支援として、あればいいなと思うことがあれば教えてください。
14	この認定プログラムに参加したいと思いますか。

【地域共生活動をしている淑徳大学学生団体の活動調査】

〔調査目的〕 淑徳大学のクラブ・サークル等による自主的な地域共生活動(ボランティア活動・地域活動等)の実態を把握するため。

〔調査対象〕 淑徳大学でクラブ・サークル活動をしている団体

〔調査期間〕 2023年5月30日(火)～6月11日(日)

〔回答数〕 11

・学科別回答数

No.	クラブ・サークル名	所在キャンパス
1	手話サークルたんぽぽ	千葉
2	PITAPETA	埼玉

3	徳能雑技団	千葉
4	ペンギン村	千葉
5	Comic&illustration オオサカ	千葉
6	千葉地区 BBS	千葉
7	吹奏楽部	千葉
8	バスケットボール部	千葉
9	パネルシアターサークルでんでん虫	千葉
10	中国語サークル彩虹橋	千葉
11	HEART サークル	東京

[調査項目]

No.	内容
1	【人数構成】 ・メンバー構成 ・人数 ・各学年の内訳 ・本学の学生の所属について、わかる範囲で選択してください
2	【地域共生活動の概要】 ・主な活動分野 ・活動内容 ・活動の日時、頻度 ・主な活動場所 ・連携している団体（学内外問わず）
3	【団体への参加について】 ・新規メンバー募集 ・募集時期
4	【リスクマネジメントについて】 ・地域共生活動をおこなう際に保険に入っていますか ・その他、活動をする際におこなっているリスクマネジメントがあれば教えてください
5	メンバー間の情報共有、連絡の手段
6	地域共生活動をおこなううえで、現在の課題があれば教えてください
7	地域共生活動について、大学へ期待することをお聞かせください

・相談対応 79 件

（内訳）学生： 24 件、教職員： 41 件 地域団体：14 件

- ①活動先を探している（学生）：7 件
- ②活動先を探している（教員）：5 件
- ③ボランティア募集がしたい（地域団体）：12 件
- ④ともいき体験の相談：0 件
- ⑤地域の活動を知りたい・情報提供：12 件
- ⑥コーディネーターへの依頼・情報交換（教員）：17 件
- ⑦その他：45 件（うち 8 件が拠点オープンに伴う見学）

※一度に複数相談されるケースもあったため、内訳数＞相談数となっている。

・パンフレット制作に伴うヒアリング 4 名（2023 年 7～8 月）

各キャンパスより 1 名ずつ、地域活動を行っている学生に対して実施した。ヒアリング内容の抜粋記事を地域共生センターのリーフレットへ掲載した。

（質問項目）①参加している活動（地域活動・ボランティア・サークル等）

- ②①の活動の概要（頻度、目的、内容など）
- ③活動を始めたきっかけ、地域活動に興味を持った体験等
- ④活動中に印象に残っている出来事・人との出会い
- ⑤大学生活・バイト等と地域活動をどう両立しているか
- ⑥今後、大学生活や趣味、地域活動等でやってみたいこと

・関係組織への視察・ヒアリング

展開していく地域共生活動において、近隣組織のニーズ調査・他地域の事例調査・ネットワーク作りを目的とした視察を行った。千葉市内の地域団体との協力関係作りが今後の課題であるが、地域団体の情報の集約機能を担う千葉市市民活動支援センターとは 6 月の視察時に引き続き情報交換を行っていく旨を確認しており、今後も引き続き関係組織・地域団体との協力関係を築いていく。

日程	訪問先等
4/21（金）	いたばし総合ボランティアセンター
4/27（木）	フードバンクいたばし事務局
5/26（金）	東京ボランティア・市民活動センター（関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加に伴う見学）
5/27（土）	「地球の仲間」日本語教室（於いたばし総合ボランティアセンター）
5/29（月）	大里綜合管理株式会社
6/5（月）	敬愛大学 地域連携センター
6/14（水）	板橋区役所赤塚支所 都市農業係
6/26（月）	千葉市市民活動支援センター
7/4（火）	山元町防災拠点他（スタディツアー打ち合わせ含む）

7/24 (月)	千葉商科大学 (政策情報学部授業見学・地域連携推進センター取り組み事例の見学)
9/1 (金)	成蹊大学 ボランティア支援センター (関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加に伴う見学)
9/17 (日) ~ 18 (月祝)	ぼうさいこくたい 2023 / 横浜国立大学
11/12 (日) ~ 14 (火)	佐呂間町教育委員会社会教育課 (「サロマでしゃべろ場」、オホーツク寒気団、津別町町長
12/10 (日)	東京ボランティア・市民活動センター (大学・短大等における学生ボランティア活動支援連絡会参加に伴う見学)
12/11 (月)	名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構 サービスラーニングセンター
2/28 (水)	千葉市男女共同参画センター (主催講座への参加に伴う見学)
3/8 (金)	聖学院大学 ボランティア活動支援センター (関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加に伴う見学)

(2) 地域共生活動の企画及び実施(学内共通基盤の構築を含む)に関する事項

①T-BASIC (ともいき基礎知識講座)

本学の建学の精神「利他共生」の原点を学ぶともいき基礎知識講座として、福祉・淑徳・共生をキーワードに「ともいき」を生涯にわたり実践してきた方々から想いや信念を学ぶ生きた動画ライブラリの構築を進めている。

【現在までに準備している動画】

・福祉とところ

出演：阿部 志郎 先生 (元 大乘淑徳学園学術顧問)

・淑徳文化

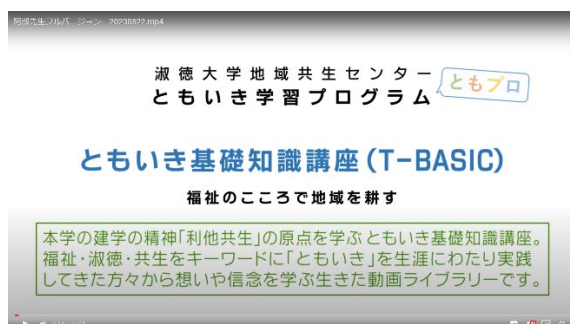
出演：川真田 喜代子 先生 (社会福祉学部 1 期生、淑徳大学客員教授)

・災害から命を守る

出演：岩佐 勝 先生 (社会福祉学部 10 期生、元宮城県石巻市大須中学校校長)

・地域とともに

出演：野老 真理子 先生 (大里綜合管理株式会社代表取締役会長)





T-BASIC の動画視聴については、S-BASIC（地域活動と社会貢献）の事前・事後学習へ組み込むことで、正課の授業と連動させ、学習効果を高めることを企図している。

②S-BASIC（地域活動と社会貢献）

全学共通基礎教育科目「S-BASIC」の「人間力の養成」に位置付けられている、地域活動と社会貢献については、令和6年度から授業が開始されるが、今年度は授業計画を含めたコアシラバスの詳細化に取り組んだ。また、共通シラバスを作成し、各キャンパスへ連携している。

【地域活動と社会貢献 コアシラバス】

授業科目名 地域活動と社会貢献	開講年次・開講学期 はキャンパスにより 異なる/必修	単位数：1単位	担当教員名：鈴木敏彦ほか 担当形態：
授業の到達目標 ・現代社会における「地域活動と社会貢献」の意義を理解し、説明することができる。 ・自ら関心を有する地域課題について、その概要(課題の背景、課題への対応、課題解決・軽減に向けた今後の取組等)を説明することができる。 ・「地域共生活動」(ボランティア等の地域活動・社会貢献活動)の体験を通して、地域社会における課題を我がこととして認識することができる。 ・「地域活動と社会貢献」を实践する市民として必要な態度、行動力を身につけている。			
授業の概要 本科目は、現代社会における社会活動と地域貢献の意義を、自ら関心を有する地域活動・社会貢献活動(地域共生活動)を通じて、理解することを目的としている。また、受講者一人ひとりが、地域社会で生じている多様な事象は自らの課題でもあるという意識をもち、地域課題の解決に自主的・主体的に参加する姿勢を涵養する。			

授業計画 第1回:授業ガイド(地域活動・社会貢献の意味、「地域共生活動レポート」について、T-BASIC 動画について等) 第2回:社会におけるつながり・支えあい(ソーシャルキャピタル等) 第3回:地域課題の諸相(SDGs に示される課題、人権に関する課題、特定非営利活動促進法にみる課題等) 第4回:地域活動・社会貢献の担い手(NPO 法人 GO、CSR、ソーシャルビジネス、中間支援組織等) 第5回:地域課題に対する取組の実際①(各キャンパスの学びの領域等を踏まえた取組) 第6回:地域課題に対する取組の実際② 第7回:地域課題に対する取組の実際③ 第8回:「地域共生活動」のふりかえり、地域共生社会の創造
テキスト なし。授業資料を配布する。
参考書・参考資料等 適宜紹介する。
学生に対する評価 ・地域共生活動の先駆者の声から T-BASIC 動画視聴、4 タイトル)についての小レポート 10% ・各回の小レポート 35% (授業 2～7 回分) ・「地域共生活動」 レポート 55% (第 7 回授業までに提出)

※地域共生活動:地域の課題に対して、主体的に取り組む活動(ボランティア活動等)をさす。

教職、看護師、栄養士、社会福祉士、保育士等の免許・資格に関する実習等は含まれない。

※「地域共生活動レポート」では、①活動に係る地域課題の内容、②活動の概要、③活動に参加することによる自らの気づき、④今後の地域共生活動への参画の抱負等を問う。レポートで取り上げる「地域共生活動」は、本授業期間中に新たな活動を行ってもよい、また既に行っている・行っていた活動を取り上げて構わない。活動の分野、参加形態、時間数等は問わない。

※授業形態:対面形式とする。

③ともいき体験プログラム(スタディツアー、パネルシアターキャラバン、学生提案型災害学習プログラム)

●復興支援プログラム【スタディツアー】

淑徳大学は、「できることを、いま、ここから」をスローガンに、復興支援活動が続けている。今年度は、南三陸町と石巻市の震災遺構や地元商店街を見学し、現地の語り部の方々と交流しながら、現地の被災状況や教訓、備えについて体験的に学び、今後自らの地

域に災害が起こった時を想定し、災害時・平時の取り組みについて考え、行動する機会を得ることを目的に開催した。

活動日時：2023年9月4日（月）～6日（水）2泊3日

視察場所：宮城県石巻市・南三陸町・女川町

参加学生：12名（社会福祉学科3名、栄養学科3名、経営学科1名、地域創生学科2名、歴史学科1名、表現学科1名、人間科学科1名）

参加教職員：6名（地域共生センター長（副学長）鈴木先生、コミュニティ政策学科：芹澤先生、元宮城県石巻市大須中学校校長（社会福祉学部10期生）：岩佐先生、他職員3名）

【スタディツアー2023_記録動画】

https://drive.google.com/file/d/1rkJ2mTUPg6snBRvZxMlJDFSIXxhNAkYB/view?usp=drive_link



●復興支援プログラム【パネルシアターキャラバン】

復興支援プログラム「パネルシアターキャラバン」は、淑徳発祥の「パネルシアター」を学生たち自ら上演し、子ども達を始め被災地の方々と交流を深めることを目的に実施している。パネルシアターを通して多くの笑顔が花開くように広がることを願いながら続けている。また、被災の現実と復興の現状に触れ、本学の建学の精神を体験的に学ぶボランティア活動である。

実施日：2024年2月27日（火）～2月29日（木）2泊3日

活動場所：岩手県一関市、陸前高田市、大船渡市、花巻市他

参加学生：3学部4学科 計17名（内訳：教育学部 こども教育学科11名、経営学部 経営学科1名、総合福祉学部 教育福祉学科1名、総合福祉学部 社会福祉学科4名）

参加教員：3名（教育学部 松家まきこ先生、教育学部 矢幅 清司先生、客員教授 藤田 佳子先生）

【パネルシアターキャラバン 2023_記録動画】

https://drive.google.com/file/d/1opVSY6gCxuy42ySpQunje0kszlPNNg3h/view?usp=drive_link



●学生提案型災害学習プログラム【それゆけ！共に学ぼう～西日本豪雨のいま～】

復興支援プログラム「スタディツアー」の有志学生5名により、学生自ら防災・災害に関して実践的に学ぶプログラムが2023年10月から企画された。今回は豪雨・風水災害に着目し、近年甚大な被害を記録した西日本豪雨を取り上げた。このプログラムは、以下の内容を目的とした。

- ・防災について興味・関心を持ち、「自助」「共助」「公助」について考える
- ・水害の恐ろしさを実際に体験し、経験者から実体験を聞く
- ・水害や災害への知見を深め、対策を考える
- ・災害学習を通して大学・地域を越えた学生と交流をする

実施日：2024年3月6日(水)～8日(金) 2泊3日

活動場所：広島県(尾道市、広島市等)

参加学生：5学部5学科 計11名（内訳：総合福祉学部 社会福祉学科5名、看護栄養学部 栄養学科3名、経営学部 経営学科1名、人文学部 人間科学科1名、地域創生学部 地域創生学科1名）

【学生提案型災害学習プログラム2023_記録動画】

https://drive.google.com/file/d/1TevIgt8JeLm4OKpgp89BY9-8nGovwmnL/view?usp=drive_link

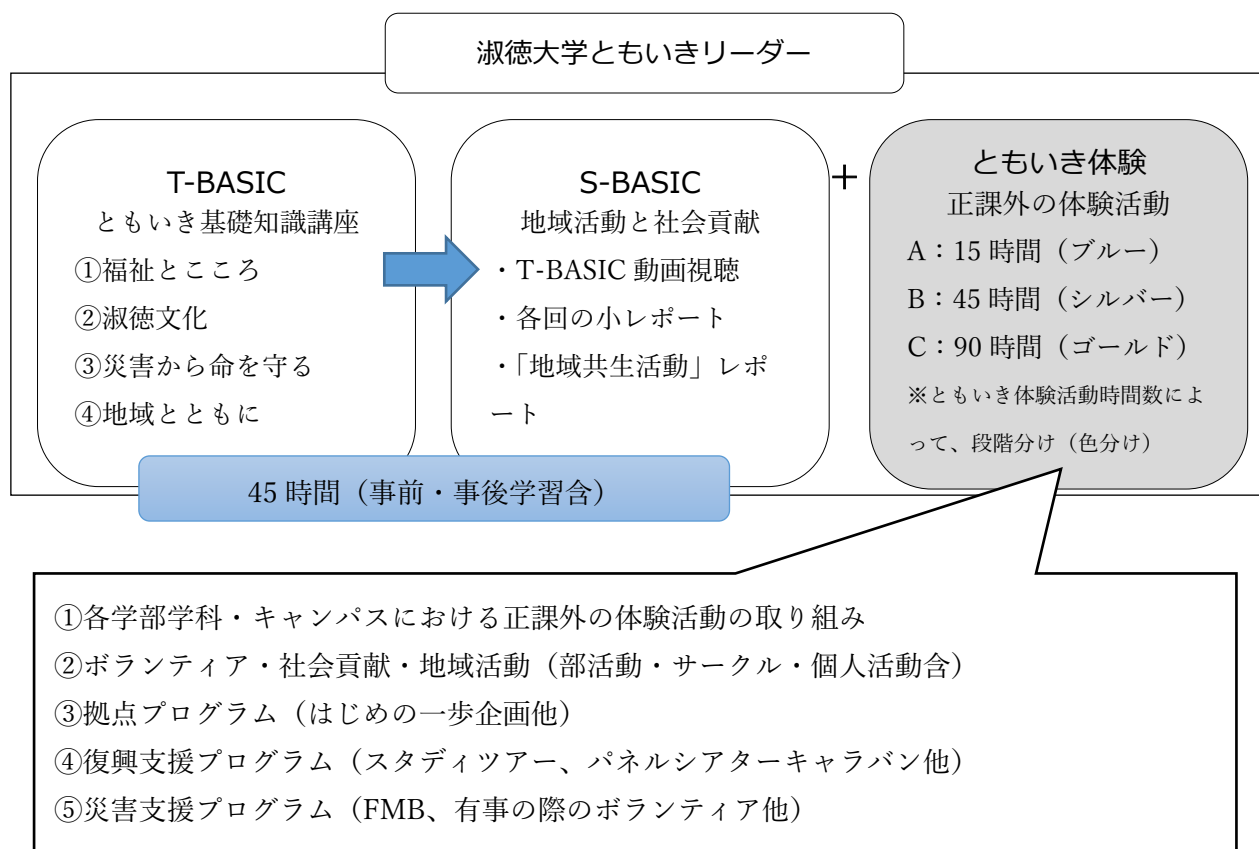


④淑徳大学認定プログラム（淑徳大学ともいきリーダー）

令和5年度入学生より、全学部全学科在学生対象に、科目履修と体験活動を行った者

に修了の認定証を授与し、「淑徳大学ともいきリーダー」の名称を付与する認定プログラムの構築を進めており、次年度から開講される S-BASIC「地域活動と社会貢献」の単位習得をもって認定者が出る見込みである。また、認定証の授与とともに、ともいき体験（正課外の体験活動）の活動時間数によって色分けしたデジタルバッジを付与する。

【淑徳大学ともいきリーダーの概要図】



●修了要件（修得単位・時間）

- ①T-BASIC：ともいき基礎知識講座の受講
- ②S-BASIC：地域活動と社会貢献の単位取得
（①+②時間数：45 時間）
- ③ともいき体験（実践活動）
 - A：15 時間（ブルー）
 - B：45 時間（シルバー）
 - C：90 時間（ゴールド）

※ともいき体験活動時間数によって、段階分け（色分け）をする。

【淑徳大学ともいきリーダーのデジタルバッジデザイン】



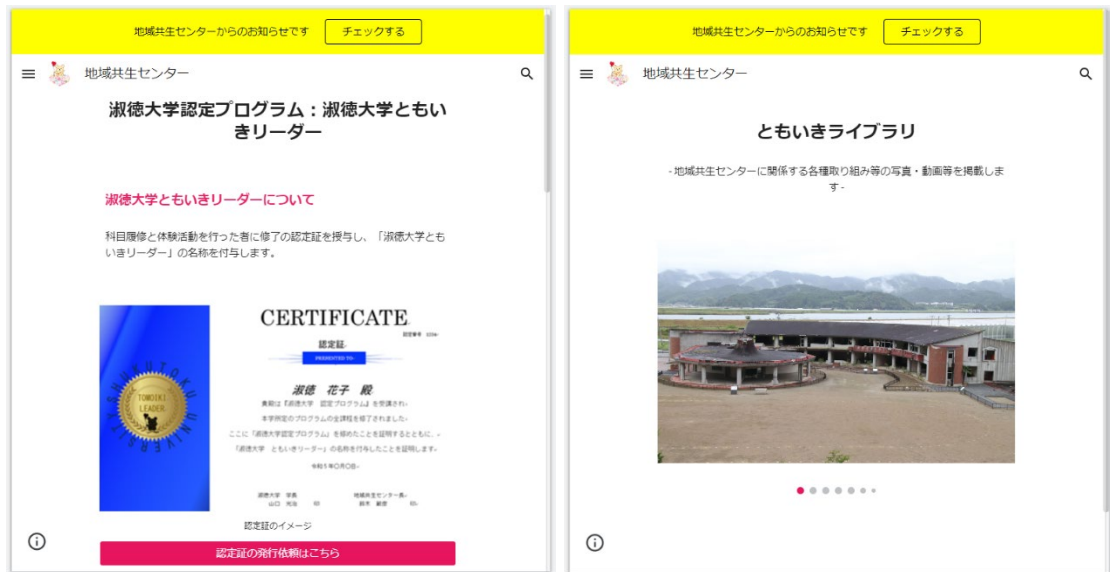
⑤地域共生センターポータルサイト

全学共通の学内共通基盤の構築の取り組みとして、①T-BASIC、②S-BASIC、③ともいき体験プログラムを同一基盤上で接続し、各種情報へのアクセスの利便性を向上させるための「地域共生センターポータルサイト」の構築を進めている。

【実装予定の主な機能】

- ・ T-BASIC の動画へのリンク
- ・ S-BASIC（地域活動と社会貢献）の講義資料、授業課題フォームへのリンク
- ・ ともいき体験プログラムの情報提供、申込フォームへのリンク
- ・ 淑徳大学認定プログラム（淑徳大学ともいきリーダー）の紹介
- ・ ともいきライブラリ（各種取り組み等の写真・動画閲覧）





ポータルサイトは「Google サイト」を活用して構築し、大学ホームページの地域共生センターページとは棲み分け、学生にとって必要な情報を必要な時に瞬時にアクセスできるよう整備を進める。S-BASIC（地域活動と社会貢献）の授業でも積極的に活用し、認定プログラムの認知度向上へ繋げる見込みである。

(3) 災害支援活動の迅速な支援展開及び環境整備に関する事項

①災害支援プログラム（ファーストミッションボックス）

【概要】

災害時に、誰であっても迅速かつ確実な初動対応ができるような指示書やツール等を内包した「ファーストミッションボックス」の制作に取り組んでいる。この取り組みは、内閣府等が主催する「防災教育チャレンジプラン」の一環として進めており、地域共生センターは2023年度チャレンジプラン団体に選定されている。

●2023年度チャレンジプラン 実践団体一覧

実施団体名称	所在地	対象
X-Bridge プロジェクトグループ	兵庫県神戸市	高等学校の部～大学・一般の部
兵庫県立明石北高等学校	兵庫県明石市	高等学校の部
淑徳大学 地域共生センター	千葉県千葉市	大学・一般の部
石巻市立桃生中学校	宮城県石巻市	中学校の部
下北 BOUSAI ネットワーク（むつ市内4校合同プロジェクト）	青森県むつ市	高等学校の部～大学・一般の部
出張！ふれあいルーム	和歌山県上富田	大学・一般の部

	町	
岡山市立操南中学校	岡山県岡山市	中学校の部
東京都立調布特別支援学校	東京都調布市	小学校の部～中学校の部、 大学・一般の部
泉南市立西信達中学校	大阪府泉南市	中学校の部
よんなな防災会学生部	静岡県静岡市	中学校の部～大学・一般の 部
見てみようよ！常総市の会	茨城県常総市	大学・一般の部

災害時に避難所となりうる大学の地域貢献のあり方の検討と学習を在学生・教職員・地域住民と一緒に、ファーストミッションボックスの作成やワークショップ、実践を交えながら進めている。

【2023 年度実施したスケジュール・内容・参加者数】

日程（期間）	内容	参加者数等
4 月～6 月	災害支援プログラム実施内容検討・調整	-
7 月 19 日（水） 12:15～12:55	災害支援プログラム事前打ち合わせ	学生：2 名 教職員：4 名
8 月 3 日（木） 10:00～16:00	防災ワークショップ（非常食体験と学内散策）	学生：7 名 教職員：10 名
8 月 4 日（金） 10:30～16:00	ファーストミッションボックス体験	
8 月 23 日（水） 10:00～16:00	ファーストミッションボックス指示書の作成	学生：7 名 教職員：10 名
8 月 24 日（木） 10:00～16:00	ファーストミッションボックス訓練実施	
9 月 17 日（日） 13:00～18:00	他団体との交流、教職員及び学生のぼうさいこくたい展示見学、パネルセッション「関東大震災から学び新たな災害対応ツール First Mission Box の有効性を考える」への職員登壇	学生：2 名 教職員：3 名
9 月 26 日（火） 12:15～12:55	ファーストミッションボックス再確認ミーティング	学生：5 名 教職員：3 名
10 月 14 日（土） 14:00～16:00	防災教育チャレンジプラン中間報告会（オンライン）	学生：3 名 教職員：5 名
10 月 28 日（土） ～10 月 29 日（日）	龍澤祭内での「防災・災害に関するアンケート」実施	学生・教職員・ 地域住民延べ

		65名回答
12月11日（月） 14:00～16:00	修正案に対するフィードバックの実施（外部の自治体関係者）	自治体関係者：4名
2月10日（土） 13:00～17:30	防災教育チャレンジプラン活動報告会（オンライン）	教職員：4名

上記のうち、8月3,4日、8月23,24日の取り組みについては、ダイジェスト動画として編集しており、防災教育チャレンジプランの報告会でも発表を行った。

10月～2月の期間は修正案の制作やとりまとめ・広報物の作成などを主に行った。

■防災ワークショップ～ファーストミッションボックス体験（8/3、4）

https://drive.google.com/file/d/1fVzRTxtbnCiGQ_5KEGaQvgzBtAf7chXy/view?usp=drive_link



■ファーストミッションボックス指示書の作成～訓練実施（8/23、24）

https://drive.google.com/file/d/19mNtOMWNkOdzzq2pZ-F6Lc1BZ-8VRpwK/view?usp=drive_link



②令和 6 年能登半島地震に関する取り組み

【概要】

学生・教職員向けに S-Navi 及び大学ホームページにて「能登半島地震における支援について」と題して、1 月 12 日付けで以下のとおり文面を発出した。

能登半島地震における支援について

学生・教職員 各位

淑徳大学地域共生センター長

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震では、尊い人命が失われ、多くの方々に甚大な被害を及ぼしました。心から哀悼の意を表するとともに、お見舞い申し上げます。

利他共生を建学の精神とする本学では、学生、教職員一人ひとりが被災地に思いを馳せ・被災された皆様に寄り添い続けてまいりたいと考えます。被災者の方々の生活の復旧・復興には長期の取組が必要とされることが予想されるなか、継続的な支援活動を進めてまいります。

1. 募金の実施

被災地への支援に資するため、募金活動を実施いたします。皆さまのご協力をお願いいたします。

期間：2024 年 1 月 15 日から 1 月 31 日（第 1 期）

方法：各キャンパスの募金箱への募金

支援先：日本赤十字社

備考：第 1 期終了後も継続的に実施いたします。

2. ボランティアについて

大学による被災地でのボランティア活動支援については、前向きに検討しております。しかし、余震の発生や現地の要請等により、現段階では自粛をお願いすることといたしました。

今後のボランティア活動については、関係機関の情報を収集しております。大学としてのボランティア活動支援の方向性が決定した際には、再度、協力の要請をお願いするとともに、s-navi 等で発信させていただきます。

以上

上記文中にも掲載している通り、学内における支援活動の取り組みとして、被災地への支援に資するため、募金活動を全学にて実施した。なお、今後も継続的に実施する見込みである。

- ・期間：2024 年 1 月 15 日から 1 月 31 日（第 1 期）

- ・方法：各キャンパスの募金箱への募金

- ・支援先：日本赤十字社

- ・集計金額

 - 千葉キャンパス：94,308 円

 - 千葉第二キャンパス：17,914 円

 - 埼玉キャンパス：23,026 円

 - 東京キャンパス：18,627 円

 - 大学合計：153,875 円

そして、学生向けとして「令和 6 年能登半島地震」被災地域でのボランティア活動に関して（第 1 報）」を 1 月 12 日に、「令和 6 年能登半島地震」被災地域でのボランティア活動に関して（第 2 報）」を 3 月 6 日（15 日更新）に大学ホームページにて公開し、災害ボランティアへの参加を検討・準備する際に必要だと思われる情報や関連情報を共有した。

また、息の長い継続的な支援活動を進めていくべく、金沢・能登方面への視察やパネルシアター等本学の特色を活かした取組について検討している。

(4) 生涯学習事業(含む社会人の学び直し)の企画と調整に関する事項

①授業開放又は公開講座

第 4 期成果指標にも記載されているとおり、各キャンパスにおいて、近隣自治体や地域住民等のニーズに合わせて、各学部等の専門性を活かした授業開放講座、公開講座等が開講され、地域の生涯学習の拠点の一つとなるよう整備を進めている。今年度は、総合福祉学部社会福祉学科と共催して、「～介護は突然やってくる、その日のために～」と題して、特別公開講座を実施した。

【特別公開講座「～介護は突然やってくる、その日のために～」】

- ・開催日時：2024 年 2 月 9 日（金）13：00-15：30

- ・場所：淑徳大学千葉キャンパス 15 号館 8 階会議室

- ・講演タイトル：～介護は突然やってくる、その日のために～新田先生×淑徳大学学生の特設公開講座

- ・講師：淑徳大学 客員教授 新田 恵利氏

- ・コーディネーター：淑徳大学副学長 鈴木 敏彦

- ・パネラー：淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科学生 4 名

- ・参加人数：合計 26 名（近隣町内会・社会福祉協議会・介護施設経営者・地域の方々・

在学生保護者他含)



・アンケート回答（一部抜粋）

実体験をもとにお話ししていただいたのでとても分かりやすかったです。両親が高齢のため今後介護が必要になると思うので新田先生のように最後やり切ったと思える介護をしていきたいです。

いつもありがとうございます。本日の講話を聴いて改めて母親の大切さ、介護がどれだけ大変なのかを気づくことができました。私の母もとてもパワフルな方ですが、いずれは老いていく日は来ると思います。今回の話を聞いて勇気をいただくことができました。またぜひ講話をよろしくお願いいたします。

なお、5年後の指標として、授業開放又は公開講座を1学科あたり2回以上実施、研究所、大学附置機関の公開講座を15回実施することが設定されている。

②ニーズ調査

ニーズ調査については、上記①授業開放又は公開講座の検討と並行する形で実施する見込みで、次年度以降、地域共生センター運営委員の協力を仰ぎ、各キャンパスへ展開する予定である。

③履修証明プログラム

社会人等に対する多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供のための履修証明プログラムについて、淑徳大学の独自性を踏まえ、2024年度から「パネルシアター実践講座」を実施する。教育学部の松家まきこ准教授と客員教授藤田佳子教授の協力のもと、通年でパネルシアターの基礎的な知識および技術を習得するとともに、個人の専門分野を活かした探求活動を行うプログラムを見込んでいる。総時間数 60 時間以上で、プログラムの修了者には、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した履修証明書を交付する。

【履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」について】

●淑徳大学履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」概要

パネルシアターの基礎的な知識および技術を習得するとともに、個人の専門分野を活かした探求活動を行うことを目的としたプログラムです。

パネルシアターに関する基礎的な知識（特性・歴史等）およびと技能（制作方法、演じ方等）を習得し、学生に指導できる力を身につけ、また、パネルシアターを用いた授業展開（モデルカリキュラム）を立案・実施できるようにすることを目指します。

更に、教育・保育・福祉現場での経験や、自らの専門分野を活かしたオリジナル作品を構想、制作、実演する力を身につけることを期待し、プログラム展開をしていきます。

●受講場所

淑徳大学東京キャンパス

※但し、一部の授業では他の場所で実施することもあります。

●受講期間

2024 年 4 月～12 月

●費用

受講料：65,000 円（教材費、その他費用を除く）

●こんな方にオススメ

- ・パネルシアターについてもっと知りたい！
- ・パネルシアターの知識や技術を深めたい！
- ・勤務先の保育者養成校で、パネルシアターを授業に取り入れる方法を知りたい。
- ・パネルシアターのオリジナル作品をつくりたい！
- ・パネルシアターを通して仲間を増やしたい！
- ・パネルシアター作家になりたい！

●応募資格

高等学校を卒業された方。その他本学学則第 22 条に定める本学への入学資格を有する方。（保育者養成校の教員の方、パネルシアター作家志望の方、大歓迎です）

●募集定員

対面授業形式：15 名（最少催行人数：5 名）

※定員を超えた場合は、選考する場合があります。

●履修証明プログラム構成・日程表					
No.	日付	曜日	時間	時間数	テーマ
1	4月20日	土	10:00～ 17:00	6	【開講式・パネルシアター概論】パネルシアターを知り、みる楽しさを味わう。
2	4月～12月			2	【学外研修会】別途指定する学外の推奨講座・公演一覧から1回以上観劇し、レポートを作成する。
3	6月1日	土	10:00～ 17:00	6	【パネルシアター演習①】既存の作品をグループで演じ、演じる楽しさを味わう。※1泊2日の合宿形式を予定
4	6月2日	日	10:00～ 17:00	6	【パネルシアター演習②】既存の作品をグループで演じ、演じる楽しさを味わう。※1泊2日の合宿形式を予定
5	7月13日	土	10:00～ 15:00	4	【パネルシアター実践①】教育・保育・福祉現場で発表を行う。上演準備、上演、リフレクション、録画記録を見てレポートを作成する。※出張公演を予定
6	7月20日	土	10:00～ 17:00	6	【作品制作の基礎技術①】作品制作の基礎技術を学び、個人作品をつくる。
7	9月28日	土	10:00～ 17:00	6	【作品制作の基礎技術②】作品制作の基礎技術を学び、個人作品をつくる。
8	10月5日	土	9:00～ 18:00	8	【作品制作①】個人作品の仕上げ、演技方演習、上演プログラムづくりを行う。
9	11月2日	土	9:00～ 18:00	8	【作品制作②】個人作品の仕上げ、演技方演習、上演プログラムづくりを行う。
10	11月3日	日	10:00～ 15:00	4	【パネルシアター実践②】教育・保育・福祉現場で発表を行う。上演準備、上演、リフレクション、録画記録を見てレポートを作成する。※出張公演を予定
11	12月21日	土	10:00～ 17:00	6	【成果発表会・修了式】個人作品の成果発表を行う。
合計				62	

なお、3月末時点で募集定員を超える16名からの申込があり、一定数の反響があったことが伺える。

①各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動の取り組みの集約

【参考：（様式）各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動等の取り組み一覧】

一覧表については、今後、淑徳大学地域共生センターホームページ等での公開を見込んでいる。また、淑徳大学認定プログラムとも関連する「ともいき体験（正課外の体験活動）」については、活動時間数によって、段階分けを行うため、作成した一覧表も参考にしながら運用する。

No.	キャンパス・学部	件数	備考
1	総合福祉学部	16	
2	コミュニティ政策学部	2	
3	千葉キャンパス	3	
4	千葉第二キャンパス	14	
5	教育学部	29	
6	地域創生学部	1	
7	経営学部	9	
8	東京キャンパス	18	
合計		92	

地域共生センターの取り組みについては、淑徳大学ホームページのニュースにて広く発信している。しかしながら、特に学内教職員について、当センターの記事に関わらず、所管外の記事を閲覧しているかについて疑問が残る。普段関わりが薄い内容でも関心を引くようなタイトル付けや写真・動画を活用した見やすい記事構成の工夫等が必要である。また、学園内広報誌との連動による取り組みの周知についても検討を進める。

No.	日付	タイトル
1	2023.04.11	NHK「明日をまもるナビ」4/16（日）10:05～(NHK 総合) にて地域共生センターの取り組みが紹介されます
2	2023.04.19	超高齢社会を体験できるボードゲーム「コミュニティコーピング を体験してみよう！」を開催します
3	2023.06.08	超高齢社会を体験できるゲーム『コミュニティコーピング』を 体験してみよう！を開催しました
4	2023.06.09	地域共生センター（千葉キャンパス）体験プログラム説明会のお 知らせ
5	2023.06.14	「地域活動の場で役立つ！バルーンアート講座」開催のご案内
6	2023.06.16	地域共生センター災害支援プログラム「地域とともに大学の避難 時対応について考える」開催のご案内
7	2023.06.22	地域共生センター復興支援プログラム「2023 年度 スタディツ アー」参加者募集のご案内
8	2023.06.28	10 年後のライフキャリアをゲームでイメージしてみよう！「サ ンゴクエスト」体験会開催のご案内
9	2023.07.05	地域共生センターともいき体験プログラム「地域の居場所『ま えのふれあいこども食堂』プロジェクト」参加者募集のご案内
10	2023.07.11	淑徳大学 地域共生センター 災害支援プログラム「地域とと もに大学の避難時対応について考える」実施のご案内
11	2023.07.20	地域共生センター主催「地域活動の場で役立つ！バルーンア ート講座」を開催しました
12	2023.07.20	地域共生センター主催「サンゴクエスト」体験会を開催しまし た
13	2023.08.07	地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」プロジェクトの事 前学習を実施しました
14	2023.08.28	災害支援プログラム「地域とともに大学の避難時対応について 考える（第 1 回・第 2 回）」を実施しました（実施報告）
15	2023.08.30	けやきの公園「七夕まつり」に運営ボランティアとして参加し ました
16	2023.08.30	地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」が開催されまし た！
17	2023.09.15	「こどもたちと“ナナメの関係”になるオンライン学習ボランテ ィアのすすめ」講座開催のご案内
18	2023.09.19	福祉×障害×アート「みんなでアートを楽しもう！」を実施し

		ました
19	2023.09.21	第8回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2023）」に参加しました
20	2023.10.03	仏教タイムスで「まへのふれあいこども食堂」の活動が紹介されました
21	2023.10.03	淑徳大学地域共生センター復興支援プログラム「スタディツアー」を開催しました
22	2023.10.26	地域共生センター千葉拠点にて、オープニングイベントを開催しました
23	2023.11.16	「広報いたばし」で「まへのふれあいこども食堂」の取組と学生の声が紹介されました
24	2023.11.21	淑徳大学に補助犬がやってくる～！「補助犬と考える共生社会」講座開催のご案内
25	2023.12.05	SDG s 企画！アップサイクルアクセサリ講座を開催しました
26	2023.12.11	千葉ジェッツ応援プロジェクト！プロバスケットチーム「千葉ジェッツふなばし」をバルーンアートで応援しませんか
27	2023.12.13	地域共生センターオープン Day「コーヒーを飲み比べながら、地域のことも知れる日」のご案内
28	2023.12.15	学生提案型災害学習プログラムの実施と参加者募集のご案内
29	2023.12.19	鎌ケ谷市安全対策課企画「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！」のご案内
30	2023.12.22	「淑徳大学に補助犬がやってくる～！補助犬と考える共生社会」を開催しました
31	2024.01.12	能登半島地震における支援について
32	2024.01.12	「令和6年能登半島地震」被災地域でのボランティア活動に関して（第1報）
33	2024.01.12	淑徳大学 公開講座のご案内 ～介護は突然やってくる、その日のために～ 新田先生×淑徳大学学生の特別公開講座
34	2024.01.15	「いたばし TIMES」で「まへのふれあいこども食堂」の取組が紹介されました
35	2024.02.01	淑徳大学地域共生センター主催 2023年度復興支援プログラム「パネルシアターキャラバン」事前学習を実施しました
36	2024.02.02	「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！」第一回講座を開催しました
37	2024.02.02	けやきの公園「餅つき体験大会」に運営ボランティアとして参

		加しました
38	2024.02.16	「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！」第二回講座を開催しました
39	2024.02.21	総合福祉学部社会福祉学科・地域共生センター共催 特別公開講座を実施しました
40	2024.02.26	地域の居場所「まへのふれあいこども食堂」プロジェクトの事後学習を実施しました
41	2024.03.05	ともいき体験活動（地域共生活動）報告会 開催のご案内
42	2024.03.15	「令和 6 年能登半島地震」被災地域でのボランティア活動に関して（第 2 報）

(6) 各キャンパスで取り組む地域共生活動の支援に関する事項

①センターからの案内

- ・共生センター案内リーフレットの作成

共生センターの趣旨・設置意図等をより適切に伝えるべくリーフレットを作成した。講座実施時や視察時の配布の他、センター来訪者への説明資料として配布している。既に地域で活動している学生のコメントも入れ込み、地域活動を始める際の一助となる資料としても活用している。なお、今回は拠点立ち上げに伴い、主に学生への周知を目的とした内容としているが、今後の共生センターの展開に応じて地域団体等への周知も目的とした内容へのブラッシュアップも見据えていきたい。

②各拠点からの案内

【千葉拠点】

- ・地域共生センター説明会

地域共生センターで実施するプログラムやセンターについて、学生を対象とした説明会を期間中、昼休み等を活用して実施した。参加者へは後日、スタディツアー・ともいき体験はじめての一步企画・災害支援プログラム等のセンター事業の案内を送付した。

参加者：11 名（事前申し込み 6 名、当日飛込参加 5 名）

実施日：6/15（木）、6/19（月）6/20（火）、6/22（木） いずれも 12:15～12:50

- ・「ともいき体験はじめての一步企画」の実施（月 1 回程度）

地域活動に関心はある学生がまずは学内で地域活動の事例を知り、地域の人材と出会える機会をつくることを目的とし、5 月より月 1 回程度、単発の講座・ワークショップ体験を実施している。なお、8 月・9 月においては夏休み期間であることと、災害支援プログラムの活動も実施したことを鑑み、本事業は実施しなかった。

本講座企画の実施前に千葉キャンパスの学生数名に聞き取りをしたところ、空き時間がバラバラであり、リアルタイムに幅広く学生が参加できる時間を確保できていない点が課題となっている。オンライン・オンデマンド配信の併用や、開催時間を長く取ることで都合の良いタイミングで参加できる環境を作ることで、参加ハードルを下げながらも多様な地域活動を知れる場として継続的に実施していきたい。

日程	タイトル	参加者数
5/17 (水) 13:00 ~ 14:30	「超高齢社会を体験できるボードゲーム『コミュニティコーピング』を体験してみよう」(講師：一般社団法人コレカラ・サポート 理事 影山 貴大 氏)	学生：3名 教員：1名 外部見学：1名 (敬愛大)
6/27 (火) 12:15 ~ 14:00	「地域活動の場で役立つ！バルーンアート講座 (講師：コミュニティ政策学科 准教授 八田 和子 先生、ゲスト：徳能雑技団)	学生：13名
7/13 (木) 14:40 ~ 16:10	「10年後のライフキャリアをゲームを通してイメージできる！『サンゴクエスト』体験会」 (講師：「サンゴクエスト」開発メンバー、認定NPO法人サービスグラント 上原一紀 氏)	学生：2名
10/3 (火) 20:00 ~ 21:00 ※後日の 動画配信 形式併用	「大学生も活躍できる！不登校・学習障がいがある子どもたちど“ナナメの関係”になるオンライン学習ボランティアのすすめ」 (講師：For everyone study 代表 植竹 智央 氏、大学生ボランティアスタッフ)	学生：11名 教員：1名
10/17 (火) 12:15 ~ 15:00	「地域活動の場で役立つ！バルーンアート講座 (講師：コミュニティ政策学科 准教授 八田 和子 先生、ゲスト：徳能雑技団)	学生：10名
11/29 (火) 12:15 ~ 15:00	「アップサイクルアクセサリー講座」 (講師：コミュニティ政策学科 准教授 八田 和子 先生)	学生：4名 教職員：4名
12/18 (月)、21 (木) 12:15 ~ 14:40	「地域共生センターオープンDay～コーヒーを飲み比べながら、地域のことも知れる日～」	学生：10名 教職員：2名

(参加学生の感想※一部抜粋)

- ・一人で地域の方の悩み事を解決するのではなく、協力することが大切だと学べた。(5月)
- ・実際の福祉問題で、私達が考える悩みとまた別視点からの悩みがあり、支援を行っていくうえで想像が付きやすくなった。共生という言葉が直接感じられるゲームだった。(5月)
- ・最初は難しいと感じたが、今後は福祉の実践現場やイベントなどに活かせるのではないかと思った。(6月)
- ・時系列順に妊娠～子育てについて知れたことや、子育てをしている方の話をリアルで聞いたことが勉強になった。(7月)
- ・ボランティアは交通費がネックになるが、オンラインのボランティアについて知れたことがよかった。(10月)
- ・学校に行かなくなってしまう子に寄り添うのはもっと難しいと思っていたが、今回の事例で重く考えすぎなくても良いことと、その子の成長・自分の成長にも繋がることにも気づけた(10月)
- ・コーヒーを自分で淹れたことがなかったので新鮮な経験になった。紅茶もやってほしい。(12月)
- ・地域の団体が資金調達のためにコーヒーを販売する事例があることを知らなかった。子どもが販売に関われることもよい仕組みだと思う。(12月)

- ・鎌ケ谷市安全対策課の実施企画への協力(「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう!」プロジェクト) 2024年1月30日～3月14日

防災教育チャレンジプランへの参加がきっかけとなり、同課より鎌ケ谷市立南部小学校内の空き教室を防災展示教室に作り替える企画の提案があり、春休み期間に実施した。なお、当初は全5回の日程としていたが、作業進捗を鑑み、参加学生の意見も取り入れながら追加の活動日を設定した。

	日程	内容	場所	参加者
①	1/30(火)	・企画を考えるワークショップ (LEGO®SERIOUS PLAY®メソッドと教材を活用したワークショップ) ・鎌ケ谷市安全対策課の紹介	千葉キャンパス 15号館 803会議室	学生:3名
②	2/5(月)	・南部小学校の現地視察 ・企画内容の決定	鎌ケ谷市立南部 小学校	学生:5名
③	2/19(月)	・企画の準備、作業	千葉キャンパス 地域共生センター	学生:4名

④	2/20 (火)	・企画の準備、作業	千葉キャンパス 地域共生センター	学生：5名
⑤	3/5 (火) 13:30 ～ 16:30	・現地での設置準備	鎌ケ谷市立南部 小学校	学生：2名
⑥	3/12 (火) 10:00 ～ 16:30	・現地での設置準備	鎌ケ谷市立南部 小学校	学生：3名
⑦	3/13 (水) 10:00 ～ 16:30	・現地での設置準備	鎌ケ谷市立南部 小学校	学生：3名
⑧	3/14 (木) 9:30 ～ 13:00	・児童へのお披露目会 (4～6年生への授業内実施)	鎌ケ谷市立南部 小学校	学生：5名

※①～④は時間はいずれも 13:30～16:30

本プロジェクトでは企画元の鎌ケ谷市安全対策課・受入先の南部小学校とともに協働的な姿勢で学生の取り組みを支えて頂き、短い期間での実施であったものの最終日のお披露目会は4～6年生の授業内で実施することができた。お披露目会では制作に携わった学生たちが児童へ防災や災害の知識を伝えながら教室内的アテンドを行い、学校関係者からも「生きた学びを児童に提供できる良い教室」とのお言葉を頂いた。今後の防災教室の活用や、地域団体との連携等については次年度も引き続き検討を重ねる。



- ・学内講義等への地域活動事例の紹介

社会福祉学科「社会資源論 A」、コミュニティ政策学科「ボランティア・市民活動論 B」において、コーディネーターが地域活動の事例（ボランティア活動参加時の心構え含む）紹介と共生センターの取り組みについても紹介を行った。

- ・近隣自治体からのヒアリング対応

鎌ヶ谷市市民活動推進課より、大学生の市民活動・地域参加に関するヒアリングを受けた。地域共生センターの紹介、学生の地域活動（ボランティア・サークル活動含む）の紹介を行った。

【東京拠点】

- ・地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」プロジェクト

地域の団体と協力し、下記のようなプログラムを開発し、運営している。このプログラムでは、事前・事後学習など学習と連動した体験活動を継続的に展開していく。

活動テーマ・目標：多世代による「食・学・遊」の居場所づくりを通して豊かなコミュニティを形成する

活動概要：

- ・地域子どもたちが集える拠点（サード・プレイス）としての「まえの淑徳こども食堂」の運営
- ・カレーづくりとみんなで美味しく食事を食べる場づくり
- ・学校の宿題の見守りや学習支援、相談相手
- ・遊びのサポートとイベント等の企画・運営

活動場所：前野ホール（前野地域センター分室）

活動期間：1年間（2023年8月～2024年3月まで） ※希望者は2年目以降も継続

活動日時：月1回程度 16時30分～20時30分

こども食堂の開催時間は18時00分～20時00分

こども食堂の主催団体：ふれあいまえのっ子の会（前野町の住民による組織）

※地域共生センターとの間で「ともいき体験プログラムに関する確認書」を取り交わした。

募集期間：6/30（金）～7/17（月）

説明会：3回実施 7/7（金）、7/11（火）、7/12（水）12：20～12：45

登録学生：7名

学部・学科…人文学部 表現学科 3名、人文学部 人間科学科 3名、

経営学部 観光経営学科 1名

学年…1年生 5名、3年生 1名、4年生 1名

実施概要：

項目	日時	場所	内容	講師・参加者
事前学習Ⅰ	7/29（土） 10：30～ 12：10	東京キャンパス 4号館4階 フリースペース	・アイスブレイクと自己紹介 ・ワーク1：活動の動機 ・ワーク2：活動がもたらすもの ・活動にあたっての心構え	講師：鈴木敏彦 センター長 学生：5名 （2名の欠席者には後日フォロー）
事前学習Ⅱ	7/29（土） 13：00～ 15：30	東京キャンパス 4号館4階 フリースペース	・こども食堂について ・前野地域について ・こども食堂開設に至った想い ・安全衛生について ・目標宣言	講師：板橋区社会福祉協議会、 ふれあいまえのっ子の会 学生5名 （上記と同様）
https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003056.html				
調理実習	8/7（月） 13：00～ 15：00	前野ホール	・本番に向けてカレーづくりの練習 ・動線の確認	学生：6名 ふれあいまえのっ子の会：5名
第1回活動	8/22（火） 16：00～ 20：30	前野ホール	・オープニングセレモニー ・こども食堂開催 メニュー：カレー	学生：6名 親子：25名 来賓等関係者：30名
https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00002984.html				
第2回活動	9/19（火） 16：30～ 20：30	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：カレー	学生：6名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約40名
第3回活動	10/24（火） 16：30～ 20：30	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：カレー	学生：5名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約40名
第4回活動	11/21（火） 16：30～ 21：00	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：さつまいもの炊き込みご飯、ナスの味噌汁	学生：4名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約40名

			企画：ビンゴ大会	
第5回活動	12/18（月） 16：30～ 21：00	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：2種類のシチュー、調理パン、唐揚げ 企画：消しゴムハンコでクリスマスカードづくり、クリスマスツリー飾り	学生：5名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約30名
第6回活動	1/19（金） 17：00～ 21：00	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：栗ごはん、すいとん 企画：折り紙めんこ	学生：5名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約40名
第7回活動	2/9（金） 16：30～ 21：00	前野ホール	・こども食堂開催 メニュー：ガパオライス、サラダ、スープ、チキンカツ 企画：風船オニをやっつける	学生：7名 ふれあいまえのっ子の会：10名 親子：約40名
事後学習	2/15（木） 10：00～ 12：30	東京キャンパス 4号館4階 フリースペース	・ココロ（キモチ）の振り返り ・アタマの振り返り ・目標に対する振り返り（自己評価） ・修了証書授与	学生：7名 ふれあいまえのっ子の会：4名
https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003595.html				

メディア掲載：

- ・「週刊仏教タイムス」（9/21（木）発行 株式会社仏教タイムス社）
<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003091.html>
- ・「広報いたばし」（令和5年11月11日号 板橋区発行）
<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003280.html>
- ・地域ブログ「いたばし TIMES」（2024年1月11日号）
<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003452.html>



・地域からのボランティア依頼への対応

地域からのボランティア依頼に対して、地域共生センターがコーディネートし、マッチングしたもの（把握しているもの）のみ掲載（3月31日時点）

No.	活動日	依頼団体	活動内容	活動場所	参加者
1	7/2（日）	グループけやき	けやきの公園「七夕まつり」の運営サポート （子どもたちの短冊や飾りづくりのサポート）	けやきの公園（前野町2丁目）	学生：4名 （経営学科1年3名、表現学科2年1名） 職員：1名
2	8月	NPO 法人SDGs いたばしネットワーク （アートビリティ作家・原田華代氏）	SDGsや災害時の近隣の助け合いの大切さを伝えるデジタル紙芝居への声の出演 （ナレーターと登場人物の声の録音）	音声データを送信	声劇サークルVoxが協力 （8名の学生）
3	10/9（月） ※大雨のため中止	中央区レクリエーション連盟 （淑徳卒業生）	中央区「区民スポーツの日」の運営サポート （体力測定コーナーの運営）	都立晴海総合高校	学生：3名 （表現学科2年1名、3年1名、4年1名） 職員：1名
4	10/15（日）	蓮根小学校PTA本部	「はすね小まつり」の運営サポート （ゲームブースの	板橋区立蓮根小学校	HEARTサークルが協力 （5名の学生）

			運営)		
5	11/11 (土)・12 (日)	株式会社ルー カ (板橋区から 受託)	板橋区主催「いた ばし未来の発明王 コンテスト」のブ ラッシュアップ研 修のアドバイザー	板橋区情報 処理センタ ー 7階 勉 強室	学生：2名 (歴史学科2年1 名、経営学科2年 1名)
6	11/23 (木・祝)	板橋フォーラ ム実行委員会	「いたばし協働・ 市民フォーラム」 での司会	板橋区立文 化会館 4階 大会議室	学生：2名 (表現学科3年2 名)
7	11/26 (日)	いたばし総合 ボランティア センター	「いたばし結まつ り」でのステージ 司会者とステージ 音響係	板橋区立グ リーンホー ル	学生：2名 (歴史学科2年1 名、表現学科2年 1名)
8	1/14 (日)	グループけや き	けやきの公園「餅 つき体験大会」の 運営サポート	けやきの公 園(前野町 1 丁目)	学生：11名 (観光経営学科1 年3名、歴史学科 1年1名、表現学 科1年2名、留学 生別科5名) ※当日2名欠席 職員：1名
9	2/3 (土)	いたばし ECO フェス タ 2024 ユー ス環境活動発 表会サポータ ーチーム	「いたばし ECO フェスタ 2024 ユー ス環境活動発表 会」での環境活動 発表	板橋区立エ コポリスセ ンター	農業体験サーク ルが参加
10	3/9 (土)	板橋区社会福 祉協議会	「福祉の森サロン 交流フェスタ♪」 の運営サポート	板橋区立グ リーンホー ル	学生：1名 (表現学科1年)
11	3/17 (日)	板橋区 (区民文化部 スポーツ振興 課)	2024板橋Cityマラ ソンの運営サポ ート (メイン会場のホ ットドリンクコー ナー)	板橋区荒川 河川敷内特 設会場 (国道17 号線戸田橋 上流)	学生：12名 (地域創生学科1 年5名、経営学科 2年1名、観光経 営学科2年1名、 歴史学科1年1

					名・2年1名・4年1名、表現学科3年1名、人間科学科1年1名) ※当日1名欠席 職員：1名
12	毎週火曜日・木曜日	一般社団法人 ビリーバーズ (ビリーバーズ板橋)	不登校支援として運営しているフリースクールにきた子ども達の見守りとスタッフの補助	優っくり村 板橋栄町 1F 地域交流スペース	学生：1名 (歴史学科3年)
13	毎週火曜日	火曜日本語サークル (豊島区共催)	日本に留学・仕事をされている外国の方に日本語上達のサポート・交流	豊島区東部 区民事務所3階	学生：1名 (表現学科2年)

・「ともいき体験はじめの一步企画」の実施

タイトル：淑徳大学に補助犬がやってくる～！補助犬と考える共生社会

日時：2023年12月5日（火） 16：30～18：00

場所：東京キャンパス 4号館4階 フリースペース

ゲスト：特定非営利活動法人日本補助犬情報センター

松本 江理 氏（理事、聴導犬ユーザー）

橋爪 智子 氏（専務理事兼事務局長）

聞き手：永井 恵一 先生（淑徳大学経営学部観光経営学科）

参加者：26名（内訳：学生4名、教員2名、職員7名、地域の方13名）

身体に障害のある方々の生活をサポートする補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）について知ることを目的に、補助犬と生活しているユーザーのお話や補助犬によるお仕事デモンストレーションなどを通して、様々な障害について知り、誰もが安心して快適に暮らせる社会について考えた。観光経営学科の永井先生とのセッションでは、補助犬とともに旅行する際のエピソードなど観光の観点からも考えることができた。

<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003412.html>



・「ともいき体験活動（地域共生活動）報告会@東京キャンパス」の実施

日時：2024年3月13日（水） 10：00～12：00

場所：東京キャンパス 4号館4階 フリースペース

発表団体：・地域の居場所「まへのふれあいこども食堂」プロジェクト

・農業体験サークル

・小澤知里さん（人文学部歴史学科3年、フリースクールでの活動）

・HEARTサークル

※地域共生センターの取組も紹介した。

参加者：40名（内訳：学生13名、教員9名、職員5名、地域の方13名）

今年度の総括的な位置づけとして、センター主催のボランティアプログラムに参加した学生や、センターが仲介して地域からの依頼にご協力いただいた東京キャンパスの学生団体、センターが活動先をコーディネートし、継続的に活動している学生個人が、この1年間のそれぞれの活動成果を発表した。お互いの活動について知るきっかけとなったとともに、参加者とのディスカッションや地域のカウンターパートからのコメントも交えて、自分たちの活動の意義や価値について考えることができた。



(7) その他必要な事項

①地域共生センター千葉拠点の整備について

・学修支援室との協働体制の構築

千葉拠点については、千葉キャンパスの学修支援室と共存する形で、地域活動・ボランティア活動等を進めるためのスペースであるとともに、学習が進まない学生が行く場所というレッテルが張られないような居場所づくりを行っている。

・共生センターイメージボードの制作

千葉拠点開設に伴い、拠点のコンセプトや活用方法などをビジュアルで示すイメージボードを制作した。イラストやデザインについては千葉県内および東京都内で広く活動している市民活動のコーディネーターの方に依頼し、共生センターの推進する地域活動のイメージをより適切に表現し、より学生に伝わりやすいイメージボードを制作することができた。制作したボード画像はポスター等としても活用し、学内外での千葉拠点の周知用素材として今後も活用していく。



・千葉キャンパスの新入生への配布用リーフレットの制作

千葉拠点の周知度向上を目的として、千葉キャンパスでの地域共生センターの取り組みを主としたリーフレットを制作し、2024年度新入生への配布を行う見込みである。以降は先行して制作した共生センター（全学対象）のリーフレットと併用して活用を行う。

地域共生センターとは
 地域での暮らし、地域活動、交流、学びの場として、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

地域共生センターに行ってみよう!
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

活動プログラムに参加してみよう!
Step 1 自分が参加しやすい条件を考えてみよう
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

Step 2 関心のある活動ジャンルを絞りこみよう
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

淑徳大学 もいきリーダー認定制度
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

淑徳大学 地域共生センター
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

はじめの一歩企画
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

淑徳大学 地域共生センター
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

淑徳大学 地域共生センター
 地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。地域共生センターは、地域の人々と共に活動する場です。

・共生センター千葉拠点 整備プロジェクト

千葉拠点開設に伴い、学生の視点・アイデアを取り入れた拠点づくりを推進するために、空間づくりや活用方法等を一緒に考えていくメンバーを募集している。今後、定期的に集まる時間を作り、拠点の利活用について検討しながら学生の意見を反映させた空間づくりに取り組んでいきたい。

・地域共生センターオープン Day の実施 (12/18、12/21)

千葉拠点開設に伴い、学内での周知と来室のきっかけづくりを目的に実施している。初回の12月は「コーヒーを飲み比べながら、地域のことも知れる日」と題し、地域に関係のあるコーヒー豆を用いて、コーヒーを飲みながら地域や共生センターの取り組みを知ったり、学生同士の交流を図ったりする時間とした。コーヒー豆は千葉キャンパ

ス周辺に位置するコーヒー店のものと、本学 OG（社会福祉学部）が取り組んでいるこどもの居場所づくり活動で販売しているものの 2 種類を用意し、それぞれの地域活動にまつわるエピソードも紹介した。なお、本取り組みは「ともいき体験はじめの一步企画」の一環としても設定し、次年度以降もテーマを変えつつ継続的に実施していきたい。

・9/9(土) 11:00～12:30 実施 「福祉×障害×アート『みんなでアートを楽しもう!』」への協力

社会福祉学科「福祉デザイン実践演習」履修者有志と教員により実施された障がい者アートイベントの広報等準備・当日協力を行った。当日は近隣の親子連れや、障がい者福祉施設の利用者・職員等 60 名以上が参加し、同イベントの様子は千葉テレビにて放映された。

・2/11(日) 10:00～17:00「千葉ジェッツ応援プロジェクト! プロバスケットチーム「千葉ジェッツふなばし」をバルーンアートで応援しませんか」への協力

淑徳大学がオフィシャルパートナーとして応援しているプロバスケットチーム「千葉ジェッツふなばし」の試合会場でのバルーンアートの制作と配布を体験し、来場されたこどもたちをはじめとした地域住民等とのふれあいを通して、地域社会への多様な貢献のあり方について学ぶことを目的として行った。バルーンアートの制作にあたっては、事前練習としての講座を 2 回実施した。

【概要】

千葉ジェッツ応援プロジェクト（千葉ジェッツふなばし会場でのバルーンアートの製作と配布・観戦【千葉ジェッツふなばし VS 横浜ビー・コルセアーズ】）

【バルーンアート練習講座（事前練習）】

(1) 実施日程：2024 年 1 月 31 日（水）2 時限目・3 時限目

実施教室：淑徳大学千葉キャンパス 2 号館 302 教室

(2) 実施日程：2024 年 2 月 5 日（月）2 時限目・3 時限目

実施教室：淑徳大学千葉キャンパス 15 号館 301 教室

【試合会場でのバルーンアート制作と配布、試合観戦】

実施日程：2024 年 2 月 11 日（日）10：00～17：30

実施場所：船橋アリーナ（現地集合・現地解散）

・地域共生センター版「シュクトクマ」グッズの制作

地域共生センターを知り、身近に感じてもらうためのグッズの制作を進めた。学生からの意見・アイデアも取り入れながら、認知度を高めるための工夫についても検討している。また、地域活動・ボランティア活動等での活用も始めている。

【アクリルチャーム】

■シュクトクマ アクリルチャーム
サイズ：30mm 角内



【ポロシャツ】 ※2023 年度パネルシアターキャラバンにて使用



【ジャンパー・ウインドブレーカー】 ※板橋 City マラソンにて使用



5. 2024 年度へ向けて

・ともいきリーダー認定プログラムの事務的課題の整理

認定にあたっては、①T-BASIC：ともいき基礎知識講座の受講、②S-BASIC：地域活動と社会貢献の単位取得、③ともいき体験（実践活動）の活動時間数の情報が必要となるが、システム上、どのように情報を集約するか、認定書の発行のフローをどのように構築するかが課題である。最短で、地域活動と社会貢献の単位取得が明らかになる 2024 年 8 月下旬頃から認定がスタートする見込みであるが、それまでの期間で整理を進める必要がある。

・地域団体・人材との協力関係の推進

学生の地域共生活動のさらなる推進のためには、学生と地域をつなぐ共生センター自体も地域団体や人材との協力関係を築いていくことが重要であると考えている。次年度の活動への展開も視野に入れ、特に大学周辺で活動している地域団体・人材との接点をつくり、共生センターの認知度向上へ繋げていきたい。

・災害支援活動の迅速な支援展開及び環境整備

前期中にワークショップを行い、千葉キャンパスにおけるファーストミッションボックス（指示書）のたたき台を作成することができたが、実際の防災訓練等を通して、継続してブラッシュアップしていく必要がある。また、千葉キャンパスだけではなく、他キャンパスへも展開し、災害時の備蓄品等の確認も含め、環境整備を進める。

また、能登半島地震に関連して、石川方面での支援について、本学としてどのように関わることができるかの検討を進め、継続的な活動へ繋げられるよう展開する。

・学生への地域共生活動のさらなる推進

今年度地域共生センターが立ち上がり、千葉と東京の 2 キャンパスを中心とした取り組みが展開されることで、「ともいき体験はじめの一步企画」のような活動の一步を踏み出すプログラムから「学生提案型プログラム」、「まへのふれあいこども食堂」プロジェクト等の学生が主体的に取り組めるプログラムまで、通常のボランティア活動にとどまらない幅広い地域共生活動に取り組める場が増えたことは成果の一つといえる。また、上記のようなプログラムを通して全学的な学生の交流も生まれ、地域共生センターで推進していくべき全学的な地域共生活動の可能性が垣間見えた一年であった。しかし、地域共生センターを活用する学生は全学的に見るとまだ少なく、次年度以降は、S-BASIC 必修科目「地域活動と社会貢献」が開始することも踏まえ、学生に対する地域共生センターのより一層の周知を図るとともに、共生センター機能である地域共生活動への相談・活動の立ち上げ支援等の利活用にも取り組んでいきたい。

参考資料

- ・ 淑徳大学地域共生センター規程
- ・ 淑徳大学地域共生センター運営委員会規程
- ・ 2023 年度 淑徳大学 地域共生センター員、淑徳大学 地域共生センター運営委員名簿
- ・ 各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動等の取り組み一覧
- ・ 地域共生センター ニュース一覧

各種広報物等

淑徳大学

超高齢社会を体験できるボードゲーム

コミュニティコーピングを体験してみよう!

会場：淑徳大学千葉キャンパス ラーニングcommons (3号館別館・2階)

近頃、まちづくりの現場では「ゲームフィクション（ゲームの要素や原則を取り入れる手法）」が用いられることも増えてきました。今回はカードゲームを通して、「社会的孤立」の課題について身近に触れてみませんか？

5/17 (水) 13:00 ~ 14:30

※参加費は無料です。ゲーム終了後に交流会も行います（※参加費）

※参加費は無料です。ゲーム終了後に交流会も行います（※参加費）

「コミュニティコーピング」とは？

2020年「第一回日本ゲームフィクションコンペティション」準グランプリを受賞。2022年には「第17回日本ゲームフィクションコンペティション」グランプリを受賞した。ゲームで協力しながら地域の孤立や課題の解決を目指すボードゲーム。

千葉県松戸市の団体「一般社団法人コレカラ・サポート」が制作し、まちづくりだけでなく福祉や地域共生の観点も取り入れた点が評価され、全国の自治体研修や社会福祉協議会・高校・大学や地域の現場にて体験会が行われています。

※参加費は無料です。ゲーム終了後に交流会も行います（※参加費）

ゲーム公式HP (<https://comcop.jp/>)

＜お申込方法＞ …申込締切：5/10 (水)

チラシ右下のQRを読み取ってフォームよりお申込いただくか、地域共生センター（千葉キャンパス）へお問い合わせください。

主催：淑徳大学 千葉キャンパス 地域共生センター
TEL: 043-265-7834
〒260-8701 千葉県千葉市中央区大塚寺町200

ともいき体験はじめの一歩*第二回

地域活動の場で役立つ！ バルーンアート講座

はじめての人にも簡単にできるバルーン

アートを作ります。花、犬、剣のほか、
バルーンの中にバルーンを入れる、
バルーン・イン・バルーンもつくる予定です。



■日時：2023年6月27日（火）
第1部 12:15～13:00
第2部 13:00～14:00
■集合場所：15号館 803会議室



※申し込みは5/10(水)まで。5/10(水)まで締切しています。
※内容は第1部・第2部とも同じです。ご都合のよい時間にご参加ください。

気軽に参加
してね!

当日参加も大歓迎!
気軽に参加下さい
お待ちしております!

【お問い合わせ】
淑徳大学 地域共生センター（千葉）
TEL: 043-265-7834 (成田・大石)



10年後のライフキャリアを
ゲームを通してイメージできる!

サンゴクエスト

SANGO QUEST

体験会

どんなゲーム?

子育て未経験者をはじめ誰もが、妊娠～産後期のさまざまな出来事やこころの動きを対話しながらシミュレーションできるゲームです。助産師・学校教員・地方議員・子育て中の会社員など、多様なメンバーが関わって開発されました。

どなたでも参加できます!

●「子育て（交棒）」に関心がある方
●地域で携わられている取り組み・活動が知りたい方
●ゆるく楽しく関わりたい、面白そうだから参加してみたい方

参加申し込みはこちらから! ※当日参加も可です

Guest

上原 一紀さん (「サンゴクエスト」開発メンバー、認定NPO法人リーディングス代表)
地方自治体、人材会社での経験を経て現在は認定NPO法人で勤務する傍ら、地域の関係・大学の講義等で、社会的テーマを題材としたアナログゲームの設計・制作・普及などに取り組む。2歳の男の子の父親です。

当日は、夫婦共働きで子育てをするってどういうこと?リアルな生活をお話します!

お父さんにやってもらいたい地域での取り組みに思いがちな人にもおすすめです!

池田での「サンゴクエスト」体験会の様子

主催・お問い合わせ ☎043-265-7834
淑徳大学千葉キャンパス 地域共生センター

淑徳大学 地域共生センター災害支援プログラム
「地域とともに大学の避難時対応について考える」

淑徳大学では今後起こりうる災害に備えて、学生・教職員・地域の方とワークショップを交えながら防災や災害支援を考える取り組みを行っています。夏期に三つのプログラムを実施します。

第1回 8月3日(木) 10:00～16:00

非常食体験と防災の観点から
学内探索してみよう

■場所：淑徳大学 千葉キャンパス (15号館7階調理実習室)

非常食調理・試食体験
災害時役立つ物ランキン
千葉キャンパス内の備蓄物・災害用自衛機など防災の観点で学内探索

第2回 8月4日(金) 10:30～16:00

避難体験をしてみよう

■場所：大里総合管理株式会社 (JR外房線「大網駅」より徒歩12分)

自治体の災害体制を知る
地域の方と避難体験

第3回 8月23日(木) 10:00～16:00
8月24日(金) 10:00～16:00

淑徳大学の避難時対応を考える
(ファーストミッションボックスの制作)

■場所：淑徳大学 千葉キャンパス (15号館8階会議室)

ファーストミッションボックスとは?
救助活動をとるための行動指針書の作成
指針書を使った避難体験とワーク

参加費 無料 (交通費補助あり) 申し込み方法 QRコードよりお申し込みください

1つから参加が可能です!是非ご参加ください。

淑徳大学 地域共生センター
Tel: 043-265-7834 | MAIL: tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp

こども食堂プロジェクト メンバー募集

※募集期間：6月30日(金)～7月17日(月)
※応募受付：7月29日(土) 10:30～16:30

※滋徳大学の「ともいき体験プログラム」を実施します。滋徳大学でしかできない体験活動に参加してみませんか？

ボランティア活動
地域活動を
やってみたい！

出会いや
視察を
広げたい！

学びを深め
自分を
成長させたい！

地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」プロジェクト

【活動テーマ・目標】
多世代による「食・学・遊」の居場所づくりを通して豊かなコミュニティを形成する

【活動概要】
地域の子どもたちから集まる拠点（サークル・プレイス）としての「まえのふれあいこども食堂」での活動
①カレーづくりとみんなで美味しく食事をする場づくり
②学校の宿題の見守りや学習支援、相談相手
③遊びのサポートとイベント等の企画・運営

【活動場所】
前野ホール（前野地域センター分室） ※東京キャンパス 4・5・6号館隣室

【活動曜日】
1回：2023年8月～2024年3月まで ※希望者は2単位以降も履修することができます。

【活動日時】
月1回開催 平日夜開催 ※初回の活動日は8月22日(土)
開演：16時30分～20時30分(予定) 準備・片付け含む
※にこども食堂の開催時間は18時00分～20時00分(予定)

【活動にかかわる費用】
・交通費の支給はありません。
・ボランティア報酬として350円を大学が支給（350円のプランに加入の専科学生の場合は発生しない）
・こども食堂での食料は無料

※このプロジェクトは、「まえのふれあいこども食堂」を主催する。
ふれあいまえのつ子的会（東京キャンパスが立寄る民間の団体の性質）に委託されています。

【説明会日程】

第1回：7月7日(金)	※時間はいずれも昼休み（12時20分～12時45分）
第2回：7月11日(火)	4号館4Fエントランスにて開催いたします。
第3回：7月12日(水)	お昼ご飯を食べながらOK！ 日曜が合わない場合、地域共生センターで個別に説明します。

プログラムの流れ

STEP 01 参加学生募集
【募集時期】7月17日(月)
【募集人数】10人程度

STEP 02 事前学習Ⅰ
【日時】7月29日(土) 10:30～12:10
【内容】
・地域共生活動とは何か
・自身の活動とプログラムで使う
社会課題をつなぐ
・活動の場があることについての話し

STEP 03 事前学習Ⅱ
【日時】7月29日(土) 13:00～15:30
【内容】
・地域やテーマ、社会課題の課題
・活動に必要な知識・技能の指導
・課題設定

STEP 04 地域共生活動
【日時】8月～2月(月1回開催 平日夜開催)
【内容】
・「まえのふれあいこども食堂」での運営
・メンバーの発案による自主的な活動の実施

STEP 05 事後学習
【日時】2月(予定)
【内容】
・自身の思いや活動の成果・運営を
多角的に振り返る

STEP 06 成果の発信
【日時】3月(予定)
【内容】
・大会発表会での活動発表
・「終了証」の授与
・自身の学習・活動に参加した
学生に対し、終了証を発行
※発表者は、2年日以降も有効。

ともいき体験プログラムとは

建学の精神である「利他共生＝他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」の行動化として、**体験活動を通して社会課題の解決に向き合い**、
ことで、他者とのかかわりの中から自己理解を深め、
生涯にわたり地域社会に貢献する「貢献人」の
生き方と共生社会の実現を目指すことを目的と
しています。このプログラムでは、事前・事後学習等
学習と連動した体験活動を継続的に展開します。

参加・修了のための必須要件

①事前・事後学習への参加は必須
ただし、やむを得ない理由で参加できない場合は、
後日、別日程で代替する
②期間中、2回以上の活動を行う

こども食堂を主催する 「ふれあいまえのつ子的会」からのメッセージ

皆さまにはほめてほしいアパレル系な世界を
通じてませんか？現代社会が抱えている
大きな問題や課題をみんなで考え、
一緒に克服できることを楽しみにしています！

申込方法・締切

【申込方法】下記申込フォームに必要事項を入力し、
送信してください。（印刷版添付でもセンターからの
受理メールの届かない場合があります。ご連絡ください）

●申込フォーム
<https://forms.gle/E5qdbz7QbwqxeQ13A>
QRコードからも
アクセスいただけます

【締切】2023年7月17日(月)

お問い合わせ：滋徳大学地域共生センター（東京キャンパス3号館1階）
【電話】03-3966-7602（直通） 【お問い合わせページはこちら】
【開室時間】平日9時00分～16時30分 <https://www.shukutoku.ac.jp/form/form060.html#/>

子どもも大人も みんなでアートを楽しもう

開催日：9月9日(土)
受付：10:30～ 開催：11:00～12:30
開催場所：滋徳大学千葉キャンパス 中庭アリーナ側
※雨天の場合 中止とする場合はメールでご連絡します

春夏秋冬や動物を描いて
季節の動物園を作ろう！

思いっきり
絵を描きたい人
大歓迎

大学祭で
かざるよ！

仮バッチも
あるよ！

今回のイベントは参加して下さったみなさんが、ともに楽しみながら共同活動することを目的と
しています。福祉×障害×アートで、一緒にひとつのことに取組み、何かを共有していくことで、障害
がある、なしや年齢などに問わず、ともに理解合っていく「きっかけ」になってくれたらなと思っ
ています。今回の活動は能率(りゆうたくさい)にも繋がっていきますので、是非遊びに来てくださ
い(10/28・29)。 By 代表学生

お申し込み

8月31日(木)17時までに
定額 定額 150名 団体参加 OK

申し込み先→

主催 協賛

主催 滋徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科
代表学生 鈴木 樹太郎・横澤 大樹・井原 咲希
「福祉デザイン実践課」担当教員
松山 美奈子・戸塚 法子
協賛 滋徳大学地域共生センター

協力

＜プロフィール＞
氏 名 鈴木 樹太郎(社会福祉学部 社会福祉学科)
1975 年大阪生まれ。株式会社アール・デザインを
創設。2017 年から、株式会社アール・デザイン(株)
を立ち上げ、障害者アートを活用したデザイン活動を行
う。現在は、障害者アートを活用した商品開発の他、
障害者の商品開発支援や福祉施設のデザインコン
テスト、ワークショップ開催の企画など多岐にわた
る活動を行う。https://www.dsbudnet.com

【開催場所へのアクセス】

JR「蘇我駅」東口から無料スクールバス8分 徒歩
18分
京成電鉄
「大谷台駅」から徒歩18分

蘇我駅から大学 大学から蘇我駅

9時 40分	13時 15分 45分
10時 15分	14時 30分 50分

大学の案内

バス乗降場

★【イベント実施場所】
滋徳大学千葉キャンパス アリーナ下
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200

アリーナ

Information

- ・当日は汚れてもいい服装でお越しください。
- ・アリーナ内にシャワールームがありますのでお声掛けください。
- ・構内に自販機や無料の冷水器等、近くにはコンビニがあります。
- ・アリーナ近くにはバリアフリートイレもご用意しています。
- ・当日はアリーナ内を体験スペースとしてお使いください。
- ・当日はスタッフが仮バッチをつけていますので気軽にお声がけください。

お問い合わせ

当日までに質問等ございましたら、こちらのメールアドレスにお願いいたします。
shukutoku.art@gmail.com

食べる 遊ぶ 学ぶ
まえのふれあい こども食堂

11月21日(火) お待ちしています!
18:00~20:00 前野ホール 前野町2丁目43-15

参加対象・参加費用
 [参加対象] こども(高校生まで)
 保護者(祖父母を含む)
 [参加費用] こども無料 大人300円

申込方法
11/13(月)~15(水), 12:00~18:00の間に
 しげのさん(元青健前野地区委員会会長)
090-4028-7928
 または
 ふじむらさん(ふれあいまえのっ子の会代表)
090-4831-4868
 まで電話にて参加申し込みをしてください

メニュー
 ・甘くてほっこりさつまいもの
 炊き込みご飯
 ・小松菜と豆腐の味噌汁

募集人数
 40名(先着順)

注意事項
 ・食物アレルギー対応はしていません
 ・飲み物はご持参ください
 ・**必ず**期限内に申し込みを行ってください

宿題持ち込みOK!
 わからないところは
 ボランティアメンバーと
 一緒に考えましょう!

ボードゲームや本もあります!

主催: ふれあいまえのっ子の会 協力: 淑徳大学地域共生センター

食べる 遊ぶ 学ぶ
まえのふれあい こども食堂

12月18日(月) お待ちしています!
18:00~20:00 前野ホール 前野町2丁目43-15

参加対象・参加費用
 [参加対象] こども(高校生まで)
 保護者(祖父母を含む)
 [参加費用] こども無料 大人300円

申込方法
12/11(月)~13(水), 12:00~18:00の間に
 しげのさん(元青健前野地区委員会会長)
090-4028-7928
 または
 ふじむらさん(ふれあいまえのっ子の会代表)
090-4831-4868
 まで電話にて参加申し込みをしてください

メニュー
 ・シチュー
 ・調理パン
 ・?(おたのしみ)

募集人数
 40名(先着順)

注意事項
 ・食物アレルギー対応はしていません
 ・飲み物はご持参ください
 ・**必ず**期限内に申し込みを行ってください

宿題持ち込みOK!
 わからないところは
 ボランティアメンバーと
 一緒に考えましょう!

ボードゲームや本もあります!

主催: ふれあいまえのっ子の会 協力: 淑徳大学地域共生センター

食べる 遊ぶ 学ぶ
まえのふれあい こども食堂

1月19日(金) 楽しいこといっぱい
 みんなの集合場所!
18:00~20:00 前野ホール 前野町2丁目43-15

参加対象・参加費用
 [参加対象] こども(高校生まで)
 保護者(祖父母を含む)
 [参加費用] こども無料 大人300円

申込方法
1/15(月)~17(水), 12:00~18:00の間に
 しげのさん(元青健前野地区委員会会長)
090-4028-7928
 または
 ふじむらさん(ふれあいまえのっ子の会代表)
090-4831-4868
 まで電話にて参加申し込みをしてください

メニュー
 ・くりごはん
 ・すいとん
 ・?(おたのしみ)

募集人数
 40名(先着順)

注意事項
 ・食物アレルギー対応はしていません
 ・飲み物はご持参ください
 ・**必ず**期限内に申し込みを行ってください

宿題持ち込みOK!
 わからないところは
 ボランティアメンバーと
 一緒に考えましょう!

ボードゲームや本もあります!

主催: ふれあいまえのっ子の会 協力: 淑徳大学地域共生センター

食べる 遊ぶ 学ぶ
まえのふれあい こども食堂

2月9日(金) 楽しいこといっぱい
 みんなの集合場所!
18:00~20:00 前野ホール 前野町2丁目43-15

参加対象・参加費用
 [参加対象] こども(高校生まで)
 保護者(祖父母を含む)
 [参加費用] こども無料 大人300円

申込方法
2/5(月)~7(水), 12:00~18:00の間に
 しげのさん(元青健前野地区委員会会長)
090-4028-7928
 または
 ふじむらさん(ふれあいまえのっ子の会代表)
090-4831-4868
 まで電話にて参加申し込みをしてください

メニュー
 ・わかめごはん
 ・サラダ
 ・しょうが焼き

募集人数
 40名(先着順)

注意事項
 ・食物アレルギー対応はしていません
 ・飲み物はご持参ください
 ・**必ず**期限内に申し込みを行ってください

宿題持ち込みOK!
 わからないところは
 ボランティアメンバーと
 一緒に考えましょう!

ボードゲームや本もあります!

主催: ふれあいまえのっ子の会 協力: 淑徳大学地域共生センター



【淑徳大学 公開講座】

～介護は突然やって来る、その日のために～
新田先生×淑徳大学在学生の特別公開講座

特別講師：淑徳大学 客員教授 新田 恵利先生

テーマ：準備の無いまま、突然始まった介護への戸惑い、在宅介護を進めていく上での心持ちなど実体験と、介護をする側、される側がより良い関係になるためのポイントをお話します。

開催日時

2024.2.9 (金)
13:00-15:30

参加
無料

開催場所

淑徳大学千葉キャンパス
15号館8階会議室



【タイムスケジュール】

12:30～ 開場

13:00～ 特別講演

14:20～ パネルディスカッション

コーディネーター：淑徳大学副学長 鈴木 敬徳

パネラー：総合福祉学部 社会福祉学科3名

淑徳大学 客員教授 新田恵利先生

お申し込み方法（QRコードまたはリンク）
お申し込みはQRコードまたはリンクから行います。お申し込みはQRコードまたはリンクから行います。お申し込みはQRコードまたはリンクから行います。

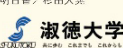
お申し込み方法



<https://forms.gle/A869KpK3DgNPFy9>
URLまたはQRコードより、お申し込みを記入
のうえお申し込みください。（2/8締切）

共催：淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科
淑徳大学 地域共生センター

企画学生：淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科3年（主1音順）
江崎美咲／崎原舞／久保田明日香／杉田大菜



学生提案型
災害学習プログラム
それゆけ！共に学ぼう
～西日本豪雨のいま～
in広島

プログラム概要

2024年3月6日(水)～8日(金)2泊3日「自助」「共助」「公助」について考える

(事前事後学習あり、参加必須)

参加費

20,000円

定員：10名程度

※定員を越えた場合、1・2年生を
優先し選考させていただきます

主催：淑徳大学地域共生センター

防災について興味・関心を持ち

水害の恐ろしさを実際に体験し、経験者から実体験を聞く

水害や災害への知見を深め、対策を考える

災害学習を通して大学・地域を越えた学生と交流をする

申し込みはこちらから

<https://forms.gle/UuCAKPK4BTmv5IEm6>



入場無料 淑徳生の地域共生活動！ @東京キャンパス

ともいき体験活動報告会

開催日 2024年3月13日(水)
時間 10:00～12:00
会場 淑徳大学東京キャンパス 4号館4階フリースペース

発表団体・個人

01 地域の活性化（まちのふれあい）を推進するプロジェクト
02 農業体験サークル
03 小規模事業者（人文学部経済学部3年、フリースペースでの活動）
04 HEARTサークル

当日のスケジュール

10:00～ 開会
10:00～ 地域共生センターの活動報告動画
10:20～ ①地域の活性化（まちのふれあい）を推進するプロジェクト
10:40～ ②農業体験サークル
11:00～ 休憩
11:10～ ③小規模事業者（人文学部経済学部3年、フリースペースでの活動）
11:30～ ④HEARTサークル
11:50～ 結束センター長による挨拶
～12:00 閉会

お申込みは
下記のQRコードまたはリンク、
お電話からでも受付可能です！

申込締切日
2024年3月12日(火)

【申込方法】
Webフォームまたは電話のいずれかでお申込みください。
▶ Webフォーム
<https://forms.gle/Ge5KBhd73NCHtsuQA>
▶ 電話 03-5918-8948

【主催・お問い合わせ】
淑徳大学地域共生センター
〒114-0063 東京都板橋区前野町5-3 7号館1階
TEL: 03-5918-8948